

副専攻名 日本史学							
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)							
概説によって、長い時代の流れを理解し、実習によって、古代から近代にわたる研究の方法論を修得する。そして、特殊講義をいくつか受講することによって、担当する教員が行っている実際の研究活動に触れ、演習をいくつか受講することによって、自ら文献史料を分析する作業を体験することができる。							
副専攻の学習成果							
大きな時代の流れを理解しながら、初歩的な研究活動のスキルを身に付ける。							
副専攻を構成する科目							
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
21301	歴史学入門	歴史学的な思考や歴史学の方法について、日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学それぞれの特徴を押さえながら学	1～4				
41552	日本史概説A1	古墳時代から平安時代に至るまでの、国家・社会・文化に関する古代史の基礎知識を身につける。	2～4				
41553	日本史概説A2	古墳時代から平安時代に至るまでの、国家・社会・文化に関する古代史の基礎知識を身につける。	2～4				
41556	日本史概説B1	近世後期から幕末期の政治・社会の動きを通史的に理解する。	2～4				
41557	日本史概説B2	近世後期から幕末期の政治・社会の動きを通史的に理解する。	2～4				
41558	日本史概説C1	金沢をはじめとする地方都市の近現代史に関する理解を深める。	2～4				
41559	日本史概説C2	金沢をはじめとする地方都市の近現代史に関する理解を深める。	2～4				
41630	東アジア史概説A1	・中国史、並びに東アジア史を学ぶために最低限必要な知識の獲得を目指す。 ・中国史の時代区分についての基本的な知識を獲得する。 ・歴史的変動が持つ中国史・東アジア史全体の中での意味について学ぶ。 ・中国史・東アジア史の基本的な用語についての知識を獲得する。	2～4				
41631	東アジア史概説A2	・中国史、並びに東アジア史を学ぶために最低限必要な知識の獲得を目指す。 ・中国史の時代区分についての基本的な知識を獲得する。 ・歴史的変動が持つ中国史・東アジア史全体の中での意味について学ぶ。 ・中国史・東アジア史の基本的な用語についての知識を獲得する。	2～4				
41632	東アジア史概説B1	・中国史、並びに東アジア史を理解するための基本的な知識を会得する。 ・東アジアの特質を歴史的に理解できるようになる。 ・中国における歴史的な事象を、東アジア史という枠組みのなかで捉えられるようになることを目指す。	2～4				
42633	東アジア史概説B2	・中国史、並びに東アジア史を理解するための基本的な知識を会得する。 ・東アジアの特質を歴史的に理解できるようになる。 ・中国における歴史的な事象を、東アジア史という枠組みのなかで捉えられるようになることを目指す。	2～4				
42790	地中海世界史概説	古代・中世における地中海沿岸世界の発展の全体像を把握	1～4				
41745	西洋中世史概説A	ヨーロッパ中世史の全体像および個々の重要な事柄とその基層をなす骨組みについて理解を深めること、また歴史を研究する上での基本的な方法について学びとることが、学習目標となろう。	1～4				
41746	西洋中世史概説B	ヨーロッパ中世史の全体像および個々の重要な事柄とその基層をなす骨組みについて理解を深めること、また歴史を研究する上での基本的な方法について学びとることが、学習目標となろう。	1～4				

副専攻名 日本史学						
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)						
概説によって、長い時代の流れを理解し、実習によって、古代から近代にわたる研究の方法論を修得する。そして、特殊講義をいくつか受講することによって、担当する教員が行っている実際の研究活動に触れ、演習をいくつか受講することによって、自ら文献史料を分析する作業を体験することができる。						
副専攻の学習成果						
大きな時代の流れを理解しながら、初歩的な研究活動のスキルを身に付ける。						
副専攻を構成する科目						
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3 Q4
41747	西洋近代史概説A	近現代の西洋における政治・社会の発展の過程を理解するとともに、その今日的意義について考察する。	1～4			
41748	西洋近代史概説B	Bに引き続き、近現代の西洋における政治・社会の発展の過程を理解するとともに、その今日的意義について考察する。	1～4			
21209	考古学概説A	様々な考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域の歴史を復元する。	1～4			
21210	考古学概説B	様々な考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域の歴史を復元する。	1～4			
41560	日本古代史特殊講義A	古代国家の支配体制について、唐王朝との比較検討を行い、その全体像と特色を理解する。	2～4			
41561	日本古代史特殊講義B	古代国家の支配体制について、唐王朝との比較検討を行い、その全体像と特色を理解する。	2～4			
41562	奈良平安時代史特殊講義A	古代社会の実態、および文化・宗教の諸相について、東アジアの各地域と比較しつつ、その特質を理解する。	2～4			
41563	奈良平安時代史特殊講義B	古代社会の実態、および文化・宗教の諸相について、東アジアの各地域と比較しつつ、その特質を理解する。	2～4			
41568	日本近世政治史特殊講義A	日本近世国家について多様な視角から理解を深め、近世史研究の到達点と課題を理解する。	2～4			
41569	日本近世政治史特殊講義B	日本近世国家について多様な視角から理解を深め、近世史研究の到達点と課題を理解する。	2～4			
41570	日本近世社会史特殊講義A	日本近世社会について多様な視角から理解を深め、近世史研究の到達点と課題を理解する。	2～4			
41571	日本近世社会史特殊講義B	日本近世社会について多様な視角から理解を深め、近世史研究の到達点と課題を理解する。	2～4			
41572	日本近代都市史特殊講義A	日本の近代都市史に関する理解を深め、それに関する史料の読解能力を身につける。	2～4			
41573	日本近代都市史特殊講義B	日本の近代都市史に関する理解を深め、それに関する史料の読解能力を身につける。	2～4			
41574	日本現代都市史特殊講義A	日本の現代都市史に関する理解を深め、それに関する史料の読解能力を身につける。	2～4			
41575	日本現代都市史特殊講義B	日本の現代都市史に関する理解を深め、それに関する史料の読解能力を身につける。	2～4			
41584	日本史特殊講義A1	日本古代・中世の国家・社会・文化についての理解を深める。	2～4			
41585	日本史特殊講義A2	日本古代・中世の国家・社会・文化についての理解を深める。	2～4			
41586	日本史特殊講義B1	日本近世・近代の国家・社会・文化についての理解を深める。	2～4			
41587	日本史特殊講義B2	日本近世・近代の国家・社会・文化についての理解を深める。	2～4			
41588	日本古代政治史演習A1	古代の政治史に関する史料(六国史中心)を解読する。	2～4	*		

副専攻名 日本史学							
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)							
概説によって、長い時代の流れを理解し、実習によって、古代から近代にわたる研究の方法論を修得する。そして、特殊講義をいくつか受講することによって、担当する教員が行っている実際の研究活動に触れ、演習をいくつか受講することによって、自ら文献史料を分析する作業を体験することができる。							
副専攻の学習成果							
大きな時代の流れを理解しながら、初歩的な研究活動のスキルを身に付ける。							
副専攻を構成する科目							
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41589	日本古代政治史演習A2	古代の政治史に関する史料(六国史中心)を解読する。	2～4		*		
41590	日本古代政治史演習B1	古代の政治史に関する史料(古記録中心)を解読する。	2～4			*	
41591	日本古代政治史演習B2	古代の政治史に関する史料(古記録中心)を解読する。	2～4				*
41592	日本古代史料演習A1	奈良時代史の基本史料である『続日本紀』を解読する。	2～4	*			
41593	日本古代史料演習A2	奈良時代史の基本史料である『続日本紀』を解読する。	2～4		*		
41594	日本古代史料演習B1	奈良時代史の基本史料である『続日本紀』を解読する。	2～4			*	
41595	日本古代史料演習B2	奈良時代史の基本史料である『続日本紀』を解読する。	2～4				*
41596	奈良平安時代史演習A1	貴族社会に関する史料(古記録など)を解読する。	2～4	*			
41597	奈良平安時代史演習A2	貴族社会に関する史料(古記録など)を解読する。	2～4		*		
41598	奈良平安時代史演習B1	貴族社会に関する史料(古記録など)を解読する。	2～4			*	
41599	奈良平安時代史演習B2	貴族社会に関する史料(古記録など)を解読する。	2～4				*
42762	日本近世前期史演習A1	近世史の重要論文と近世前期の史料を講読することで、日本近世史の現状と課題を把握する。	2～4	*			
42763	日本近世前期史演習A2	近世史の重要論文と近世前期の史料を講読することで、日本近世史の現状と課題を把握する。	2～4		*		
42764	日本近世前期史演習B1	近世前期史の重要論文の講読を通じて、日本近世史の現状と課題を理解するとともに、実際に近世文書を調査(目録作成・撮影・解読)を行い、調査・研究能力を高める。	2～4			*	
42765	日本近世前期史演習B2	近世前期史の重要論文の講読を通じて、日本近世史の現状と課題を理解するとともに、実際に近世文書を調査(目録作成・撮影・解読)を行い、調査・研究能力を高める。	2～4				*
42766	日本近世中期史演習A1	近世史の重要論文と近世中期の史料を講読することで、日本近世史の現状と課題を把握する。	2～4	*			
42767	日本近世中期史演習A2	近世史の重要論文と近世中期の史料を講読することで、日本近世史の現状と課題を把握する。	2～4		*		
42768	日本近世中期史演習B1	近世中期史の重要論文の講読を通じて、日本近世史の現状と課題を理解するとともに、実際に近世文書を調査(目録作成・撮影・解読)を行い、調査・研究能力を高める。	2～4			*	
42769	日本近世中期史演習B2	近世中期史の重要論文の講読を通じて、日本近世史の現状と課題を理解するとともに、実際に近世文書を調査(目録作成・撮影・解読)を行い、調査・研究能力を高める。	2～4				*
42770	日本近世後期史演習A1	近世史の重要論文と近世後期の史料を講読することで、日本近世史の現状と課題を把握する。	2～4	*			

副専攻名 日本史学							
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)							
概説によって、長い時代の流れを理解し、実習によって、古代から近代にわたる研究の方法論を修得する。そして、特殊講義をいくつか受講することによって、担当する教員が行っている実際の研究活動に触れ、演習をいくつか受講することによって、自ら文献史料を分析する作業を体験することができる。							
副専攻の学習成果							
大きな時代の流れを理解しながら、初歩的な研究活動のスキルを身に付ける。							
副専攻を構成する科目							
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
42771	日本近世後期史演習A2	近世史の重要論文と近世後期の史料を講読することで、日本近世史の現状と課題を把握する。	2～4		*		
42772	日本近世後期史演習B1	近世後期史の重要論文の講読を通じて、日本近世史の現状と課題を理解するとともに、実際に近世文書を調査(目録作成・撮影・解説)を行い、調査・研究能力を高める。	2～4			*	
42773	日本近世後期史演習B2	近世後期史の重要論文の講読を通じて、日本近世史の現状と課題を理解するとともに、実際に近世文書を調査(目録作成・撮影・解説)を行い、調査・研究能力を高める。	2～4				*
42774	日本近代史演習A1	近代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。	2～4	*			
42775	日本近代史演習A2	近代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。	2～4		*		
42776	日本近代史演習B1	近代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある。	2～4			*	
42777	日本近代史演習B2	近代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある。	2～4				*
42778	日本現代史演習A1	現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。	2～4	*			
42779	日本現代史演習A2	現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。	2～4		*		
42780	日本現代史演習B1	現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある。	2～4			*	
42781	日本現代史演習B2	現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある。	2～4				*
42782	日本近現代史演習A1	近現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。	2～4	*			
42783	日本近現代史演習A2	近現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。	2～4		*		
41784	日本近現代史演習B1	近現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある。	2～4			*	
42785	日本近現代史演習B2	近現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある。	2～4				*
41578	日本史学実習A1	日本古代史の研究を進めるうえで不可欠な基礎的知識を体得する。	2	*			
41579	日本史学実習A2	日本中世史の研究を進めるうえで不可欠な基礎的知識を体得する。	2		*		
41580	日本史学実習B1	日本近世史の研究を進めるうえで不可欠な基礎的知識を体得する。	2			*	

副専攻名 日本史学**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

概説によって、長い時代の流れを理解し、実習によって、古代から近代にわたる研究の方法論を修得する。そして、特殊講義をいくつか受講することによって、担当する教員が行っている実際の研究活動に触れ、演習をいくつか受講することによって、自ら文献史料を分析する作業を体験することができる。

副専攻の学習成果

大きな時代の流れを理解しながら、初歩的な研究活動のスキルを身に付ける。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41581	日本史学実習B2	日本近代史の研究を進めるうえで不可欠な基礎的知識を体得する。	2				*